

事業者温室効果ガス削減報告書概要（第二計画期間） 第1年度分

1 事業者の概要

事 業 者 の 名 称	宮城交通株式会社		
市 内 代 表 事 業 所 の 名 称	宮城交通株式会社		
市内代表事業所の所在地	仙台市泉区泉ヶ丘三丁目13-20		
主 た る 事 業	道路旅客運送業		
事 業 者 の 該 当 要 件		条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
		条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
	○	条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
		条例第15条第1項に該当する一般事業者	
温 室 効 果 ガ ス 排 出 抑 制 の た め の 基 本 方 針	1.旅客事業の健全な運営を維持しながら温室効果ガス排出削減にも取り組み、地球温暖化対策に努めます。 2.従業員に対しエコドライブの教育を行い、実践させるよう努めます。 3.エネルギー消費量等削減のため、常に新たなエネルギーを求め情報収集、検証を行い積極的な導入に努めます。		

2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの削減目標	基準年度	2022 年度	基準排出量		6,463 t-CO ₂	基準原単位		0.9405	
	目標年度	2025 年度	目標排出量		6,269 t-CO ₂	目標原単位		0.9395	
			削減率		3.00 %	削減率		0.10 %	
			非化石エネルギー自動車割合						2.99 %
温室効果ガスの排出状況	第1年度	2023 年度	排出量		6,570 t-CO ₂	排出原単位		0.9709	
			削減率		-1.66 %	削減率		-3.24 %	
			非化石エネルギー自動車割合						0.99 %
	排出量等の増減理由		新型コロナウイルス感染症の5類移行後、人の動きが戻り、コンサート・イベント輸送等による臨時バスの運行が増加したことに加え、8月の猛暑による空調に係わる燃料使用量増加により、温室効果ガスの排出量・総走行距離が増え、排出量・原単位ともに削減できなかったと考えられます。						
	第2年度	2024 年度	排出量		t-CO ₂	排出原単位			
			削減率		%	削減率		%	
			非化石エネルギー自動車割合						%
	排出量等の増減理由								
	第3年度	2025 年度	排出量		t-CO ₂	排出原単位			
			削減率		%	削減率		%	
			非化石エネルギー自動車割合						%
	排出量等の増減理由								

様式第2号別紙1

3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	100 %	目標年度	100 %
	第1年度	100 %	実施状況の説明等	引き続き取り組みを続けていきます。
	第2年度	%	実施状況の説明等	
	第3年度	%	実施状況の説明等	

選択対策の実施状況	項目	実施状況
	情報共有体制の整備	実施済
	エネルギー使用量の見える化（前年度比較）	実施済
	エネルギー使用量の見える化（分計による課題発見）	実施済
	環境性能の良い車両の計画的導入	実施済
	燃費向上のための装置等の計画的導入	実施済
	エコドライブの管理	実施済
	維持管理に関する教育	実施済
	モーダルシフトの推進	実施済
	関係者への普及啓発	実施済
	事業者連携による効率的な輸送推進	実施済
	最適運行ルート選択	実施済
	効率的な自動車運用のためのシステム導入	実施済
	効率的なルート選定	実施済

その他の対策の 実施状況	項目	具体的な取組内容	実施状況
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	燃料電池バスの導入 (富谷営業所所属、仙台市内を含む路線を運行)	実施済
	従業員の自動車利用の抑制、公共交通機関の利用促進	従業員に対する自社運行路線の運賃無料化、従業員家族に対する自社運行路線の定期代の無料化	実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	事務所内でのクールビズ、ウォームビズの実施	実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	バス停にソーラー式照明設備を設置	実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	事務所照明のLED化の推進	実施済
	森林の保全・緑化の推進	給与明細や社内通知文書(社報等)の電子化を実施し、ペーパーレス化を推進している	実施済
	市が実施する環境関連事業への参画	仙台市環境配慮事業者 (エコにこゴールドマイスター)の認定取得	実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	高速バス路線での貨客混載を実施(仙台大阪線にて仙台市内発着の荷物を中心に運搬)	実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	本社屋のエアコンを更新しエネルギー削減	実施済